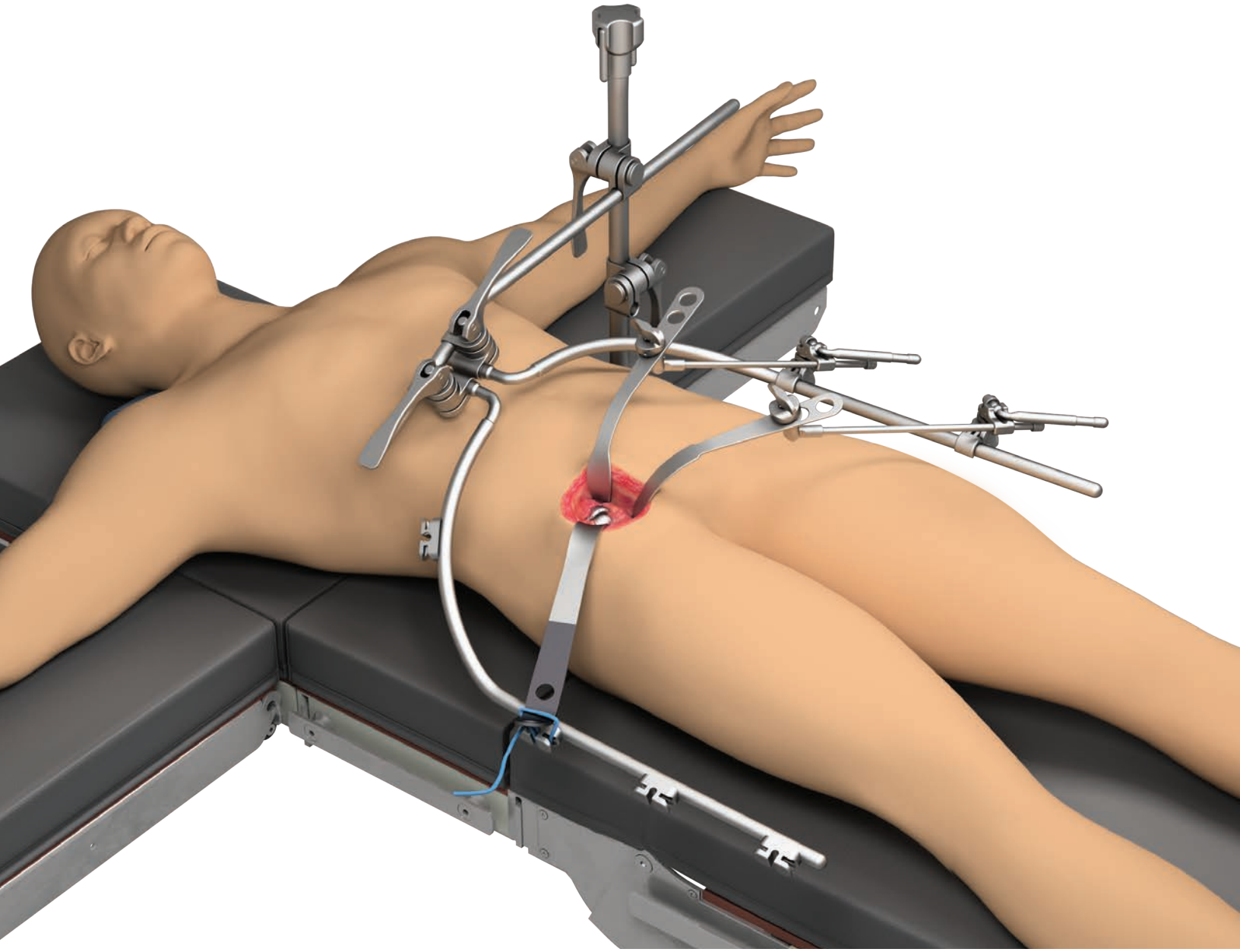
Thompson Retractor

Uncompromised Exposure™



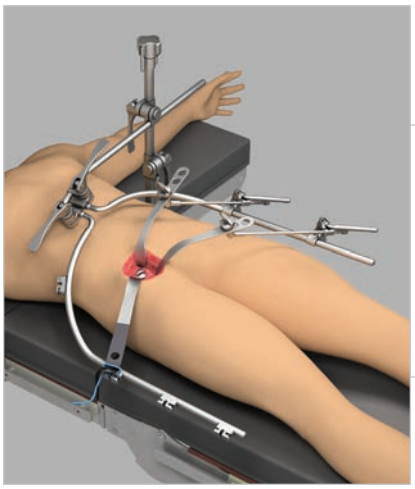
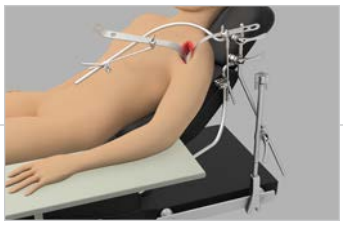
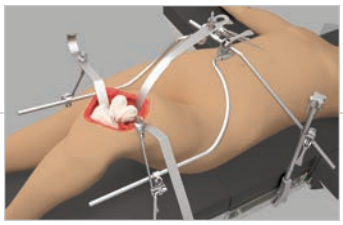
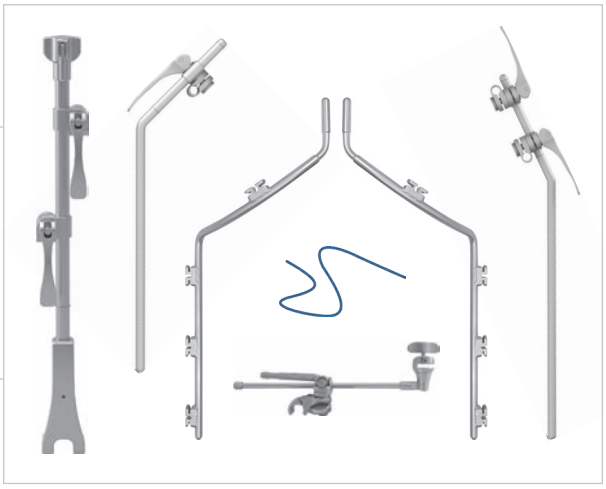
Thompson全関節リトラクターユーザーマニュアル：

THOMPSON全関節リトラクターのセットアップ手順

Thompson
SURGICAL INSTRUMENTS

+ 1 231 922 0177 » THOMPSONSURGICAL.COM

全関節リトラクターフレームのセットアップ

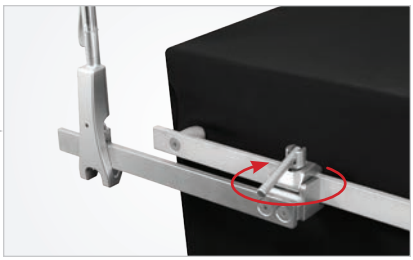
注意：神経の損傷を防ぐため、患者の身体をフレームコンポーネントで圧迫することは避けてください。

Thompson Retractorは、未滅菌の状態で提供されています。洗浄、滅菌およびお手入れの方法については、Thompson Retractorの使用説明書を参照してください。

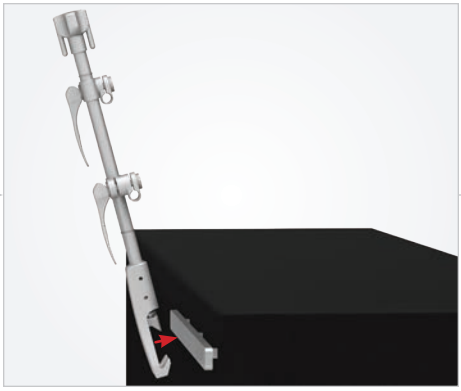
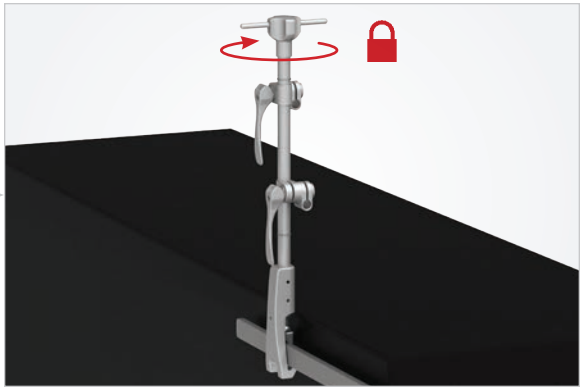
その他の警告と注意については、Thompson Retractorの使用説明書を参照してください。

その他のThompson Retractorシステムについては対応する各ユーザーマニュアルを参照してください。

HANA®テーブルまたは脚部位置決めシステムを使用する場合：レールエクステンダー
レールエクステンダーを滅菌ドレープ上のレールに置き、ノブを時計回りに回して締めます。固定したら、Thompsonレールクランプを追加できます。
注記：レールエクステンダーは、Thompson Retractorの取り付け専用です。互換性がない可能性があるため、他のリトラクターと一緒に使用しないでください。



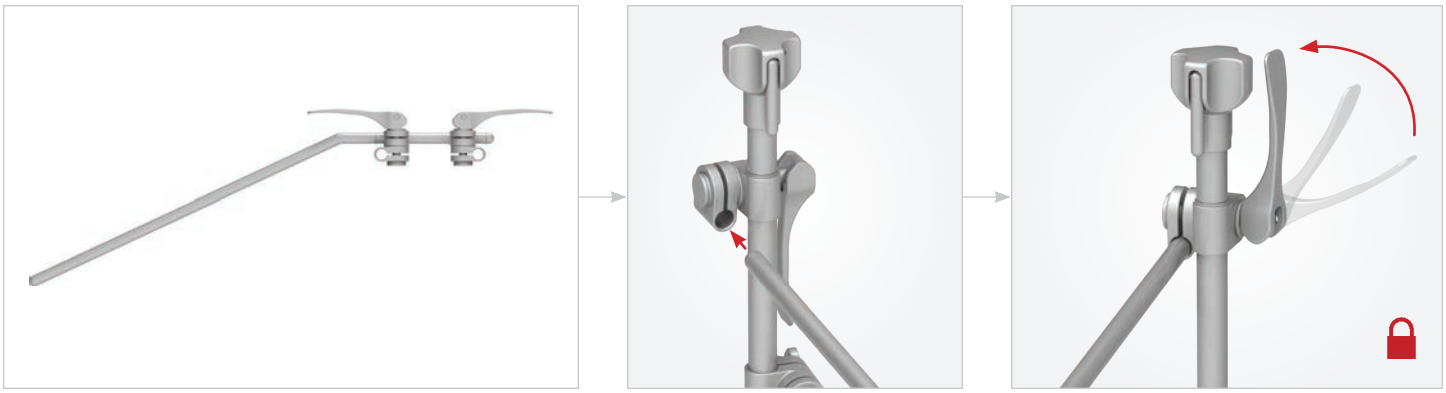
ステップ1：レールクランプ
滅菌ドレープで覆ったレールの上にElite Rail Clampを置いて、上端のノブを時計回りに回転させて固定します。

全関節リトラクターフレームのセットアップ(続き)

ステップ2:クロスバー

クロスバーをレールクランプのジョイントに挿入し、必要に応じて位置を調整します。カムハンドルをフリップさせて、クロスバーをジョイントに固定します。



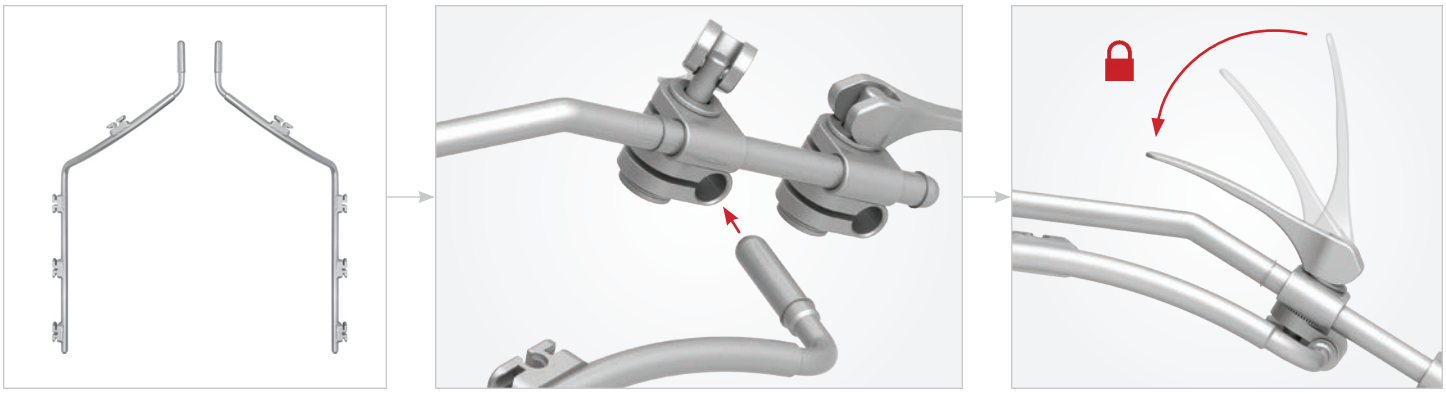
ステップ3:カーブ型アーム

1つめのカーブ型アームをクロスバーのジョイントに挿入し、カムハンドルをフリップさせて固定します。2つめのカーブ型アームをクロスバーの2つめのジョイントに配置し、カムハンドルをフリップさせて固定します。

ヒント:カムハンドルを固定する際により多くの力が必要な場合は、クロスバーを握ってください。

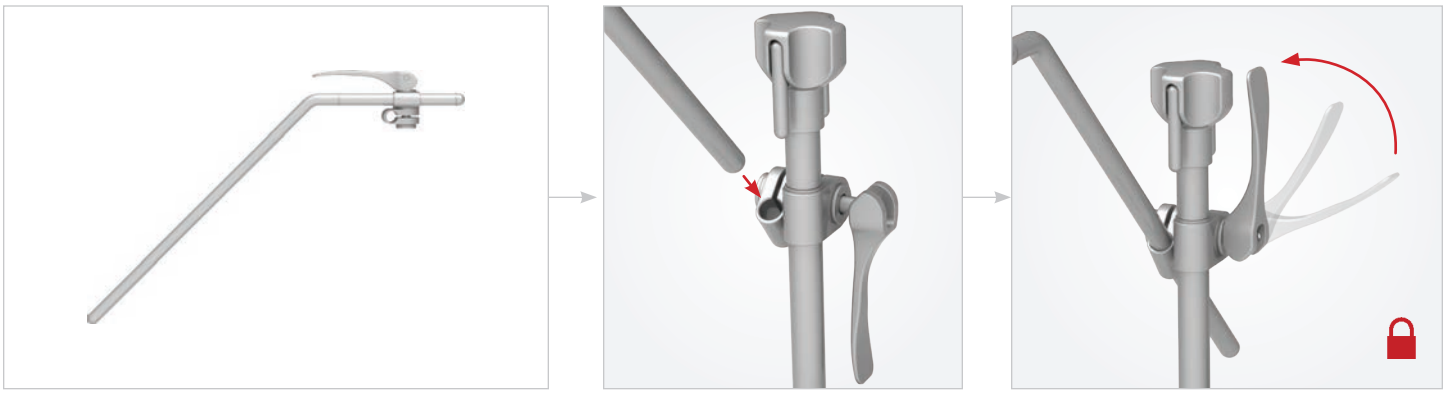
ヒント:作業空間の邪魔にならないように、外側のカーブ型アームはできるだけ低い位置に維持してください。

ヒント:カーブ型アームは、正しい向きになっていると半月形になります。



オプションのアップライトアーム(ヒップ)

肥満の患者に使用する場合などに到達する範囲を広げたい場合は、クロスバーを取り付ける前に、アップライトアームをElite Rail Clampに取り付けることができます。アップライトアームをレールクランプのジョイントに挿入し、必要に応じて位置を調整します。レールクランプのジョイントハンドルをフリップさせて固定します。アップライトアームのジョイントにクロスバーを取り付けます。

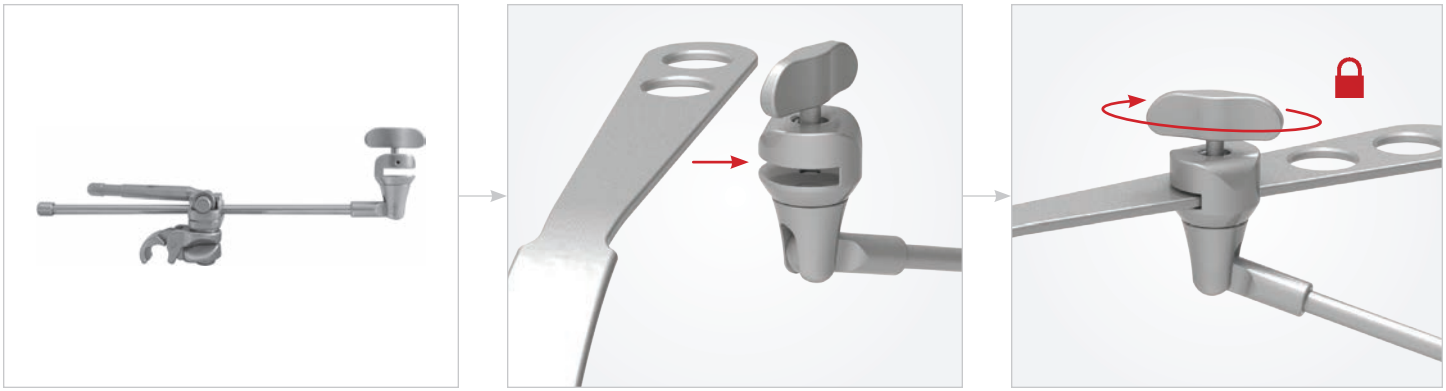


リトラクターハンドル

クリップオンブレードアダプターハンドル

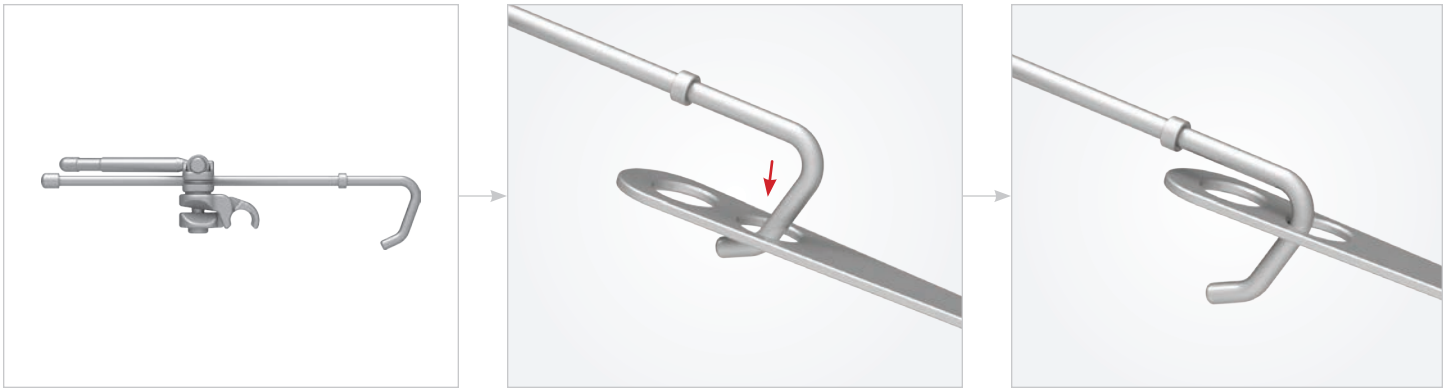
ブレードの平らな部分をハンドル遠位端のスロットに挿入して、ブレードをハンドルに取り付けます。**正しく接続されていることを確認するため、ブレードがハンドルのスロットにしっかり嵌合していることを確認します。**ハンドルは、リトラクターの**平らな**近位端に沿った好きな場所に配置することができます。**ハンドルを穴に取り付けないでください。**ハンドルノブを時計回りに回して締めます。

ヒント:より迅速に取り付けるには、手術の開始前に、助手がすべてのリトラクターハンドルを外科医が希望するブレードに取り付けるようにしてください。



整形外科用フックハンドル

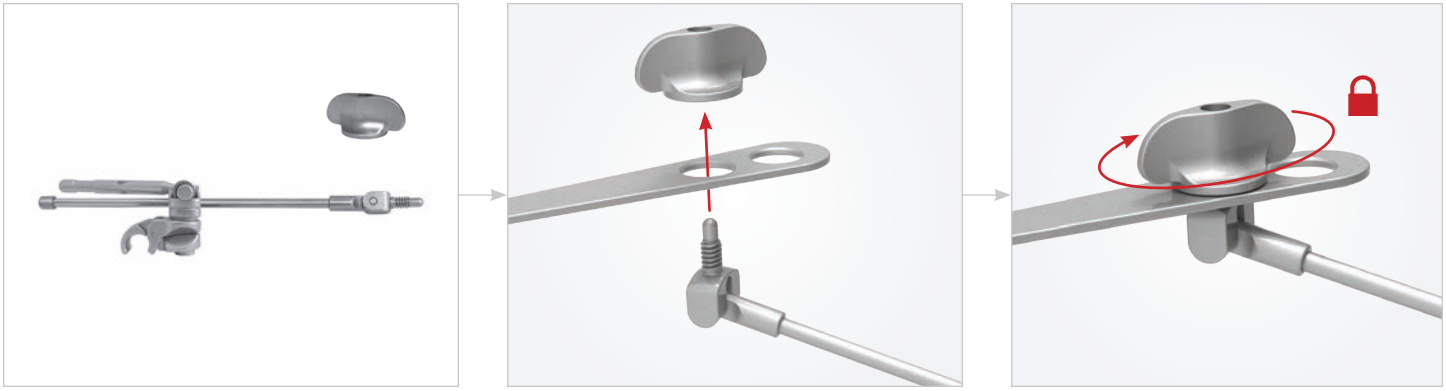
リトラクターブレードを所定の位置に取り付けた状態で、フックをリトラクターブレードの穴に挿入してフレームに取り付けます。



整形外科用ハンドル+ノブ

ハンドルスクリューをリトラクターブレードの穴に配置して、リトラクターブレードを整形外科用ハンドルに取り付けます。ノブを取り付けて時計回りに回して、ブレードを所定の位置に固定します。(この手順を行うのは、リトラクターハンドルをフレームに取り付ける前でも後でもかまいません。)

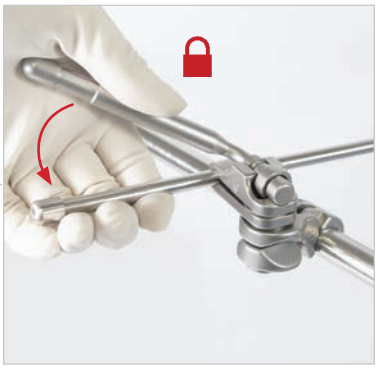
ヒント:より迅速に取り付けるには、手術の開始前に、助手がすべてのリトラクターハンドルを外科医が希望するブレードに取り付けるようにしてください。



リトラクターハンドル(続き)

クリップオンハンドルアタッチメント

ジョイントがアンロック位置にある状態で、希望の場所でフレームにクリップで固定、ブレードを切開部に配置し、カムジョイントハンドルをフリップさせて所定の位置に固定します。

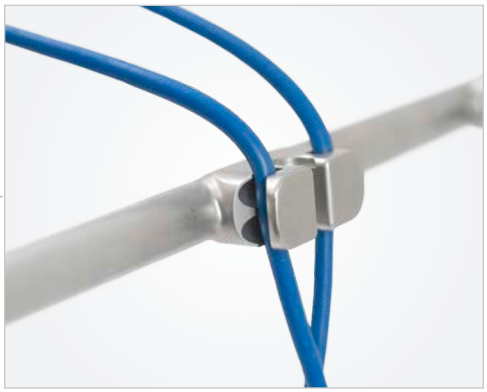


取り外すには:カムジョイントハンドルをアンロック位置にフリップさせ、親指と人差し指でカムジョイントの後ろをつまんで、アームからそっと持ち上げて外します。

テザー+クリップオンクリート

テザー

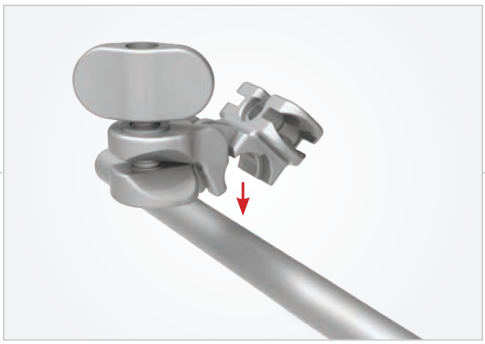
希望する開創が得られる位置にリトラクターブレードを配置します。片手で開創を所定の位置に保持したまま、もう片方の手でブレードにテザーを巻き付け、必要に応じてテザーをクリートに取り付けて、カーブ型アームに固定します。

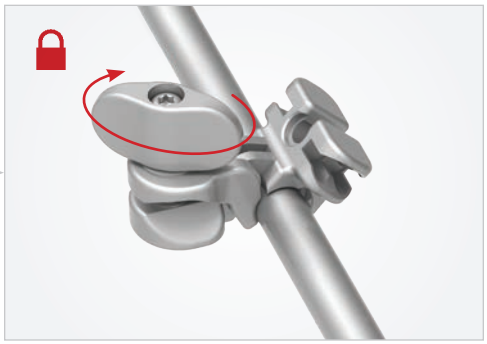


クリップオンクリート

必要な場合にテザーの取り付け部位を追加するために、クリップオンクリートをカーブ型アームに取り付けること(滑らかな表面にまたはクリートを使用して)ができます。ノブを反時計回りに回して、ジョイントが開いていることを確認します。ジョイントのロックを十分に解除した状態で、カーブ型アームの滑らかな表面に沿った好きな場所にクリップオンクリートを取り付けます。ノブを時計回りに回して締め、所定の位置に固定します。

取り外すには:ノブを反時計回りに回して緩め、親指と人差し指でジョイントの後ろをつまんで、アームからそっと持ち上げて外します。





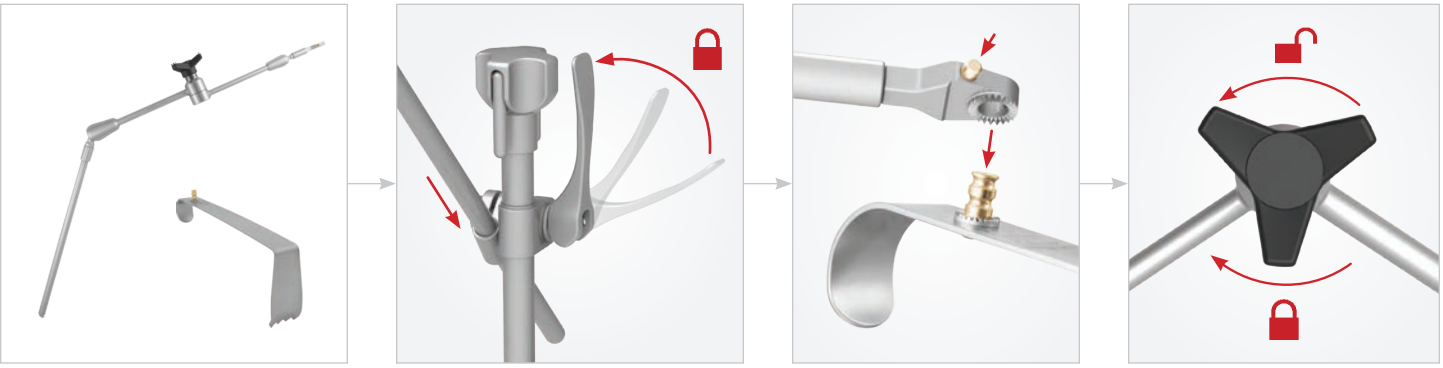
ヒップアドオン：S-Lock連接アーム＋ロングヒブズブレード

S-LOCK連接アーム＋ロングヒブズブレード：最初のアクセス＋閉鎖

S-Lock連接アームをレールクランプの2つめのジョイントに配置します。カムハンドルをフリップさせて、アームをジョイントに固定します。

金色のプランジャーを押してブレードニップルを挿入し、プランジャーを解放して、ロングヒブズブレードを連接アームに取り付けます。ヒブズブレードは、回転位置でもロック位置でも使用できます。プランジャーを押すと、回転とロックを容易に切り替えることができます。

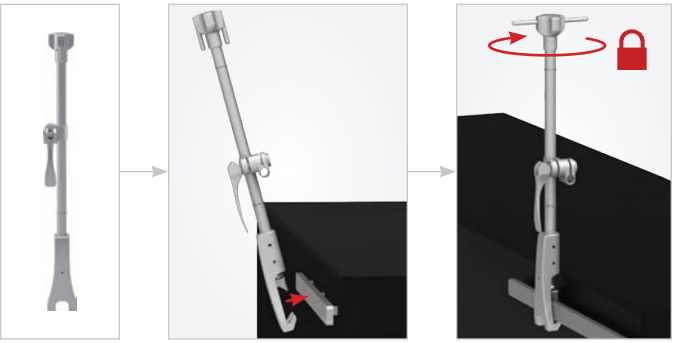
黒いノブを反時計回りに回して緩めると、アームのテンションが緩みます。希望の位置に配置して、黒いノブを時計回りに回して締め、所定の位置に固定します。



ヒップアドオン：大腿骨エレベーターシステム

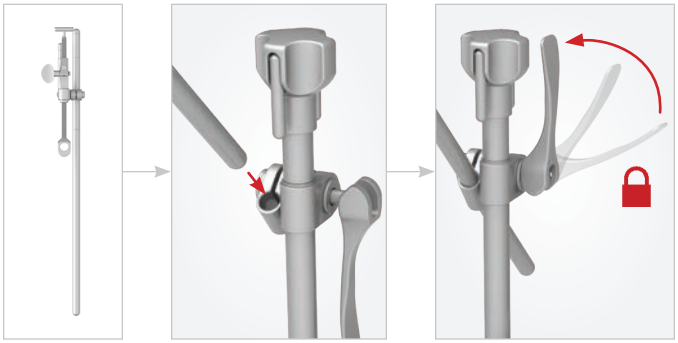
レールクランプ

滅菌ドレープで覆ったレールの上にElite Rail Clampを置いて、上端のノブを時計回りに回転させて固定します。



ストレートアーム

ストレートアームをElite Rail Clampのジョイントに挿入して位置を決め、カムジョイントハンドルをフリップさせて固定します。



エレベーターハンドル

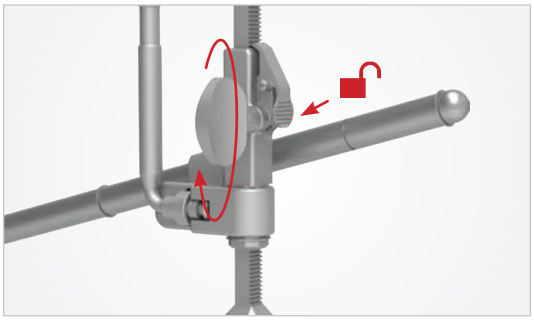
エレベーターハンドルを配置し、ジョイントを閉じて所定の位置にロックします。

フック

大腿骨フックの近位端にあるT型ハンドルを用いて、フックを所定の位置にセットします。ポールをエレベータアームハンドルに挿入して、所定の位置に保持します。

開創

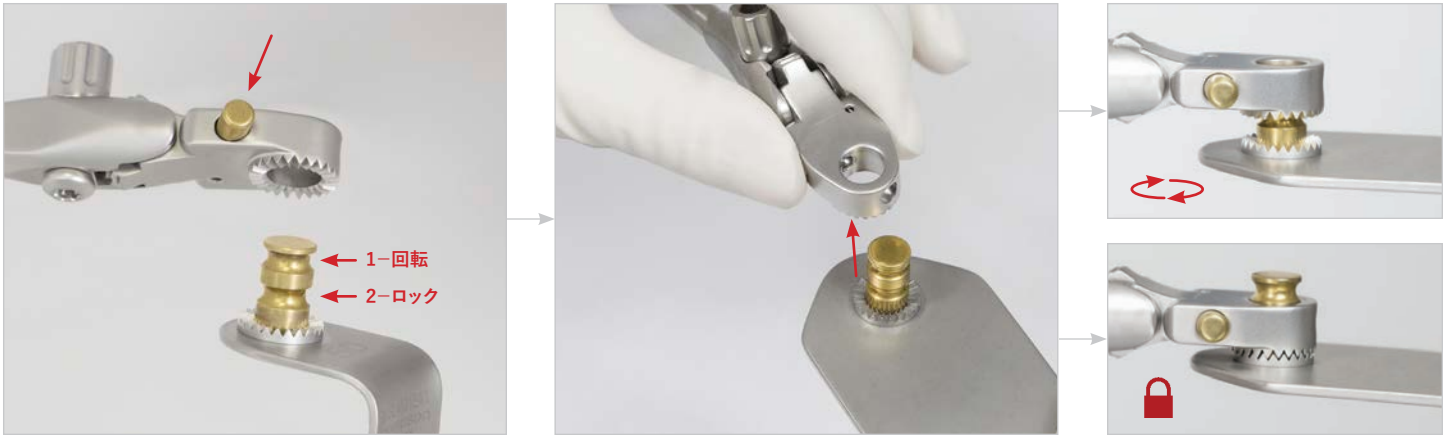
追加で開創する必要がある場合は、微調整可能ハンドルのノブを回してさらに牽引してください。爪を押して解放します。



ヒップアドオン:筋肉リトラクター

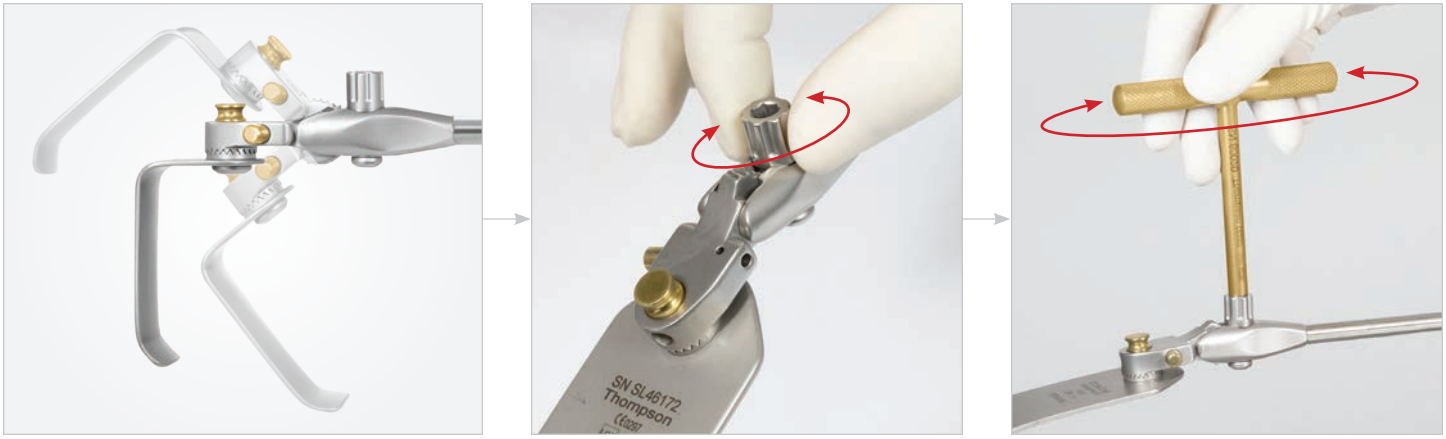
S-LOCK® ハンドル+ブレード

プランジャーを押し、ブレードのニップルを挿入してブレードをハンドルに取り付けます。プランジャーを押してブレードを解放すると「回転」と「ロック」位置間を切り替えることができます。



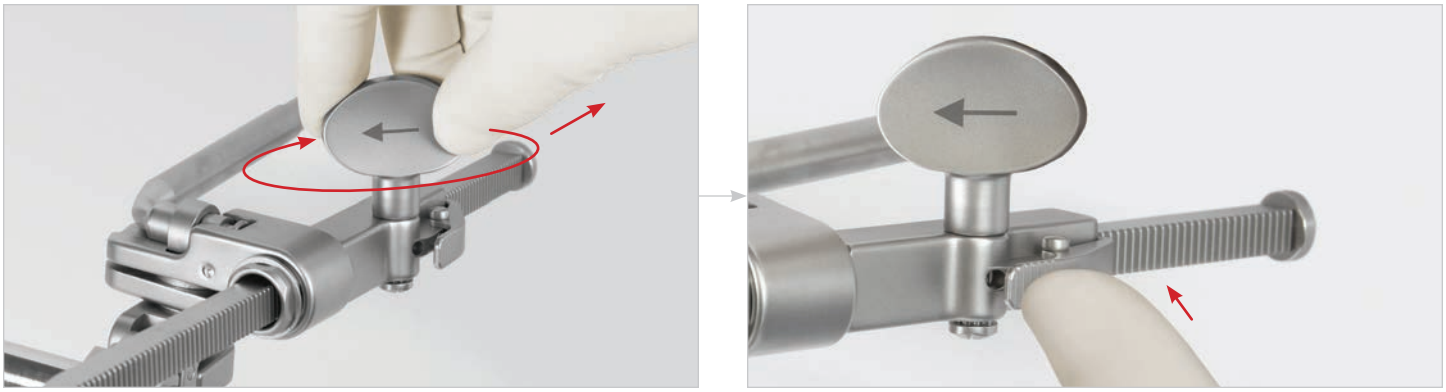
クイックアングルハンドル

ブレードは手またはT型ハンドルで上下45度に角度を調節できます。



MICRO-ADJUSTABLEハンドル

Micro-Adjustableハンドルノブを時計回りに回すと、ブレードがさらに引っ張られます。爪を押して張力を解放します。



ご質問がある場合、またはさらに詳しい情報が必要な場合は以下にご連絡ください：

+1 231 922 0177

Rev A
031722
tjum-ja

Uncompromised Exposure

弊社ウェブサイトをご覧ください：**THOMPSONSURGICAL.COM**

Thompson
SURGICAL INSTRUMENTS
10341 East Cherry Bend Road
Traverse City, Michigan 49684
電話番号：+1 231.922.0177
ファックス：+1 231 922 0174
thompsonsurgical.com

EC REP **Emergo Europe**
Prinsessegracht 20
2514 AP The Hague
オランダ

CE 0297

© 2022 Thompson Surgical Instruments, Inc.米国内印刷

® S-Lock® ®およびThompsonの「丸T」ロゴマークはThompson Surgical Instruments, Inc.の登録商標です。
特許権利者：trpat.com
注記：最適な製品の提供に努めておりますが、この文書に記載されている画像の一部は、実際の製品と若干異なることがあります。

Made In USA